

やさしい日本語講座

主催	(公財) 加古川市国際交流協会
日時	① 生活・行政情報編 令和4年9月3日(土) 午後2時～4時 ② 教育・学校情報編 令和4年9月17日(土) 午後2時～4時
場所	加古川市民交流ひろば 会議室1・2 (カピル21ビル5階)
内容	<p>「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。 阪神・淡路大震災(1995年)では、多くの外国人も被害を受け、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができない人がいたことから、そのような人でも災害発生時に適切な行動をとれるように考えられたのが「やさしい日本語」です。 現在では、災害時のみではなく、行政情報や生活情報の伝達の際のわかりやすい日本語として、広まりつつあります。 この講座では「やさしい日本語」を使って外国人とコミュニケーションを取る方法を学ぶことができます。</p> <p>① 生活・行政情報編 講師：福井 武司氏(神戸YWCA学院主任講師) ② 教育・学校情報編 講師：斎藤 明子氏(神戸日語学院専任講師)</p> <p>(2回目)</p>
対象(参加者)	18歳以上
定員	50名(先着)
参加費	無料
申込先・方法	<p>①は、8月20日(土)、②は、9月6日(火)までに加古川市国際交流協会事務所窓口またはハガキ、メール、ファックスにて①氏名・ふりがな②年齢③電話番号④日本語指導経験の有無を伝える。 TEL 079-425-1166/FAX 079-425-0200/ MAIL info@kakogawa-kia.or.jp</p>
目的・背景 その他	近年増加・多言語化している外国人住民に伝わりやすい「やさしい日本語」を習得する。

問合せ先

加古川市国際交流協会 (担当：森・白石)
☎079-425-1166

やさしい日本語講座

外国人に伝わるわかりやすい日本語を学びませんか？

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりもかたんで、外国人にもわかりやすい日本語のことです。

阪神・淡路大震災（1995年）では、多くの外国人も被害を受け、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができない人がいたことから、そのような人でも災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」です。

現在では、災害時のみではなく、行政情報や、生活情報の伝達の際のわかりやすい日本語として、広まりつつあります。

地域で暮らす外国人に何か伝えたいとき、私たちが普段使っている日本語に少し工夫をすれば伝わることも多いのです。

ぜひ、外国人に伝わる「やさしい日本語」を通して、外国人との暮らしやすい地域づくりに参加してみませんか？

日程：①生活・行政情報編 令和4年9月3日（土）午後2時～4時

②教育・学校情報編 令和4年9月17日（土）午後2時～4時

会場：市民交流ひろば 会議室1・2（カピル21ビル5階）

講師：①生活・行政情報編 福井 武司氏（神戸YWCA学院主任講師）

②教育・学校情報編 齋藤 明子氏（神戸日語学院専任講師）

定員：各50名（先着順）

対象：18歳以上

費用：無料

申込：①は、8月20日（土）（必着）、②は、9月6日（火）（必着）

までに国際交流協会事務所で申込用紙に記入、メール、FAX、はがきのいずれかで①氏名、ふりがな②年齢③電話番号④日本語指導経験の有無を明記してください。

（公財）加古川市国際交流協会

〒675-0065 加古川市加古川町篠原町21-8 カピル21ビル5階

TEL:079-425-1166 FAX:079-425-0200

Eメール:info@kakogawa-kia.or.jp

HP:http://kakogawa-kia.or.jp



メールはこちら